

## 15mm 厚チューブの従来品との交換とリペアムαの注入について



タイヤレバーを一箇所に差し込み、他のレバーでタイヤをは外して行きます。大体 30cm 位外したならば、残りの部分は指を差し込んで、指で外すようにします。レバーによって外すと、チューブを傷つける可能性があります。



チューブは、まずナットや口金等バルブに付いている部品を外し、リムバンドをチューブから分離して、リムからチューブを抜き取ります。



新しいチューブはバルブに付いている部品を全て外し、軽く口でチューブを膨らませてから取り付け作業に入ります。



リムバンドにバルブを通してから、リムのバルブ穴にバルブを差し込みます。





タイヤをリムに取り付ける際、タイヤとリム間にチューブを噛むのを防ぐため、出来るだけ指で丁寧にタイヤをリムに入れて行きます。



パールは最後の部分だけに使用します。



後輪を外す時は、ギヤを一番下に落としておきます。



タイヤを組み付けてから、バルブをナットで固定し、口金等の部品を組み付けてから、一度空気をいっぱいに入れてから再度空気を抜き、タイヤがチューブやリムバンド等を嚙んでいないかを、入念にチェックし、不具合あれば直します。その後、シリンジにリペアム $\alpha$ を規定量入れて注入しますが、その際、バルブの位置を真下から20度以上傾け、リペアム $\alpha$ の逆流を防止します。

また、シリンジは強く押し付けて、リペアム $\alpha$ の横漏れを防止します。